

## 地域の意見を反映

### 小泊海域漁港漁場環境公共推進協議会設立総会

**地**元の意見を取り入れながら漁港・魚礁及び増殖場を効率的に利用管理することを目的に、2月28日(金)日本海漁火センターで小泊海域漁港漁場環境公共推進協議会の設立総会が行われました。

この協議会は、小泊・下前漁協、青森県、中泊町で構成された15人で、会長に小泊漁協の佐藤組合長、副会長に下前漁協の角田組合長が選任されました。

今後は水産環境整備事業として、小泊・下前沿岸に魚礁をつくるための協議、漁港の防波堤や消波ブロックなどを設置する際の意見や要望を吸い上げる場として水産振興を図っていくこととなります。



## たくさんの催しで交流を図る

### 武田新田冬まつり

**武**田新田開発に貢献した人々やご先祖様に感謝の心を捧げ、今後の地域発展と交流を図ることを目的に、3月1日(土)つがるにしきた農協武田支店で武田新田冬まつりが開催されました。

快晴となったこの日は、用意した席が足りなくなるほど来場者が集まりました。ステージでは、中里横笛愛好会の演奏、健康ダンス「べえ子ちゃん」によるダンスショー、謎の美女軍団によるスコップ三味線演奏、夢幻天舞によるよさこい演舞、手踊り、朗読、オカリナ演奏、歌謡ショーなど町内外の芸能人が出演し楽しみました。また津軽鉄道アテンダントも参加し、自分たちの活動について笑い話や失敗談などを含めて紹介しました。

廊下の物産コーナーでは、しとぎもちや海産物など町特産品販売も行われました。来場者たちは「今日は天気がよく、ここへは気持ちよく歩いてきた。いっぱい笑ったし、食べたし楽しませてもらった」と話していました。



## 素敵な出会いを

### 出会いサポーター活動協議会

**素**敵な出会いを応援するあおり出会いサポートセンターが主催する「出会いサポーター活動協議会」が、3月5日(水)中央公民館で行われました。

結婚を希望する県内の独身男女を応援しようと県が少子化対策の一環として行っている事業で、この日は事業実績等の報告がありました。現在会員が約1,005人でうち35人が成婚したそうです。現在、婚活イベントを主催する協賛団体は79団体、出会いサポーターは69人が登録し、活動しています。



## ダムの役割や工事の様子を紹介

### 津軽ダム流域市町村リレーパネル展

**岩**木川流域8市町村をリレーして開催している「津軽ダムリレーパネル展」が、3月20日(木)からパルナスで行われました。初日は津軽ダム工事事務所・藤原副所長が訪れ、小野町長に特製リレーバトンを手渡し、パネル展を引き継ぎました。展示は9日間行い、平成28年度の完成に向けて進められている「津軽ダム」の役割や工事の様子などを紹介しました。



## 高品質マグロの安定供給を

東京水産大学特任教授・福田氏が講演

マグロ一本釣りはえ縄漁業者による「マグロの活け締めと脱血、焼く肉防止技術」に関する研修会が、3月10日(日)日本海漁火センターで行われ、町内、外ヶ浜町、鰯ヶ沢町、深浦町から85人が参加しました。マグロに関しては北海道戸井町・本県大間町の津軽海峡産マグロが消費者から高い評価を受けています。このような状況の中で地域が一体となり、水揚げされた津軽海峡本マグロの魚価を向上させ、消費拡大に繋げるとともに地域の主要産業になることを目指し、地域の活性化と漁業振興に寄与することが期待されます。



## 掘り出し物を求めて…

第5回町民フリーマーケット&特産品フェア

3月9日(日)、町の連合婦人会が主催する町民フリーマーケット&特産品フェアがパルナスで行われました。もったいない町民運動を実践するために開催しているこのイベントは、今年で5回目。当日は町内4つの婦人会のほか、7団体と2個人が参加しました。会場には町内外から約300人の来場者が訪れ、新鮮な小泊の海産物などを買い求める人や、掘り出し物を探す人で賑わいました。

この日に役場女性部が売り上げた23,327円は、3月11日(火)、中泊町社会福祉協議会と、発生から3年が経過した東日本大震災の復興支援のために寄付しました。

## 最後の「むがしっこ」

薄市保育所で對馬てみ先生の昔話

對馬てみ先生による昔話の語りが、3月13日(木)薄市保育所で行われました。月に1回、てみ先生が来所し、いろいろな昔話をしています。今回のお話は「ぷーぷーよいかん、なきそのさわ」でした。毎月子どもたちは楽しみにしているのですが、来年から小学生になる子どもたちにとっては最後のお話となりました。

下山奈々美さんは「いつもお話しが楽しみで、聞けなくなるのが残念です」、秋元理希くんは「一緒にご飯を食べたり折り紙を教えてくれて楽しかった」と先生との思い出を話していました。また、てみ先生も小学校へ進む子どもたちに「今度は勉強がんばってね」と激励の言葉をかけていました。



### 広告

#### 借金問題解決します

#### 依頼すると支払いはすぐに止まります

借金の整理は実績・経験豊富な当事務所へ(農地や家屋の担保借入も解決します)

※当事務所では旧金木町出身の白川が相談窓口となっておりますので、津軽弁でお気軽にお電話下さい(土・日・祝日可)。

白川携帯 090-6793-9487 / E-mail nebuta@live.jp

#### 森田文行法律事務所

事務所案内  
〒231-0031 神奈川県横浜市中区万代町3-5-10シャロン横浜大通公園202号  
電話 045-663-5511 / FAX 045-681-4366  
弁護士 森田文行 (横浜弁護士会所属)  
相談料無料。長い取引や完済している場合は、払い過ぎを取り返します。

## 北海道新幹線開業対策

### 西北地域県民局長と意見交換

北海道新幹線開業に向けた津軽半島北部エリア観光推進事業に係る意見交換会が、2月26日(水)日本海漁火センターで行われ、西北地域県民局長、小泊観光協会、中泊商工会、起きて夢見る会、歴史研究家、中泊活ハマクラブから15人が参加しました。

中泊町の資源の確認、地域住民の考えの把握・理解、北海道新幹線開業に向けた来年度事業のしたごしらえの意味も含め、県民局長から現状の説明を受けながら意見交換を行いました。

北海道新幹線の開業は、八戸・新青森に続く、青森県にとっては3度目の新幹線開業となるもの。会議では開業によって多くの観光客が訪れることが、必ず地域活性化につながると確認しました。



## 高齢者などの見守り活動

### 見守りの協定書を交わす

町と生活協同組合コープあおもり、津軽健康生活協同組合が高齢や障害などで地域の見守りが必要な人に対し、訪問などの活動を通じて高齢者たちが安心して自立した生活を営めるよう支援することを目的に、3月24日(月)役場で協定書を交わしました。

生活協同組合コープあおもりの菅原正常務理事から、「私たちも見守りの大切さを感じている。みなさんの役に立てればと思っている」と挨拶。小野町長は「高齢世帯や1人暮らし世帯が年々増えている中、こうした取り組みで協力していただくのは大変ありがたく、心強いこと」と話しました。現在、生活協同組合コープあおもり、津軽健康生活協同組合は、31市町村と協定を交わしているそうです。

## エコリン学校で森林の大切さ学ぶ

### 駅ナカで木煙サイクルフォーラム

地球温暖化防止、緑化推進を図ることと地域活性化を目的に、3月23日(日)津軽中里駅・駅ナカにぎわい空間で「駅ナカ木煙サイクルフォーラム」が行われ、約250人が集まりました。町からは起きて夢見る会や中泊活ハマクラブなどがイベントに協力しました。

フォーラムは、緑の募金の公募事業として行われ、主催者であるNPO法人つがる夢庭志仙会・荒谷政志理事長が「地球温暖化防止、緑化の推進についてたくさん勉強してってください」とあいさつし、スタート。続いて、青森大学田村早苗教授が「エコリン学校校長先生のお話」として、森林の役割、大切さ、育てるためにはどうするかなどを伝えました。

昼食をはさんで「モクモクキャラクターコンテスト」の表彰式が行われ、中里高校の佐藤未来さんが緑の募金賞に選ばれ、表彰されました。

最後は、県環境政策課によるエコに関する「どっちなクイズ」が行われ、会場にきた10体の「ゆるきゃら」たちと一緒に考えながら、子どもから大人まで交流を楽しみました。

